



日本RWA・ ステーブルコイン & BNBエコシステム 交流会について

Japan RWA, Stablecoin & BNB Ecosystem

2026年7月13日開催@虎ノ門
株式会社ASIAN STAR/Hash Global/BNB Chain

開催概要



2026年7月13日(月)



虎ノ門アルセアタワーコンファレンス
(東京都港区虎ノ門2-2-3 3階)



株式会社ASIAN STAR



Hash Global



ブロックチェーンエコシステムパートナー:BNB Chain



招待制(クローズド形式)

招待制交流会

多くのご来場
ありがとうございました



登壇者:15名 参加者:60名以上

参加者内訳:金融機関・投資家20名、上場企業5社、
法律事務所1社、Web3RWA業者30名)

開催の意義と多様な参加層

世界の主要経済圏におけるWeb3およびRWAの発展プロセスと将来トレンドを踏まえ、日本におけるRWAとステーブルコインの「事業機会と課題」について率直に意見を交わす場として実施いたしました。



金融機関・上場企業

国内金融機関や上場企業が参加し、実社会への導入を議論。



Web3インフラ

ステーブルコインやBNBChainを含む主要インフラ事業者が集結。



専門家・投資家

法務・コンプライアンスの専門家や機関投資家が制度面を考察。

日本の実物資産をブロックチェーンで世界へ繋ぐ、新たな金融インフラの可能性を共有する場となりました。多様な関係者が集い、日本RWA・ステーブルコイン市場への高い期待が示された一方、法制度や決済インフラ、機関投資家の参入など、実用化に向けた課題も共有されました。

招待制交流会

日本 RWA・ステーブルコイン & BNBエコシステム

(Japan RWA, Stablecoin & BNB Ecosystem)

SIGNIFICANCE OF THE EVENT

イベントアジェンダ



開会挨拶

ASIAN STAR
&
Hash Global



基調講演

機関投資家資金、オン
チェーンインフラをテーマ
とした基調講演



パネルディスカッション

「実物資産のトークン化と規制の境界線」
「ステーブルコイン、オンチェーン決済と
グローバル流動性」をテーマに2つのパ
ネルディスカッション



交流会

参加者同士の
ネットワーキング

招待制交流会

日本 RWA・ステーブルコイン & BNBエコシステム
(Japan RWA, Stablecoin & BNB Ecosystem)

AGENDA

開会挨拶

RWA・ステーブルコイン等をテーマとした本交流会の開会挨拶。

基調講演

日本市場の豊かなポテンシャルと本イベントの重要性が提示されました。世界のWeb3・RWAトレンドに追随し、将来的にデジタル資産市場を牽引する存在となるべく、日本は速やかに市場基盤を確立し、好機を捉えるべきだという強いメッセージが参加者へ送られました。

登壇企業紹介

- BNB Chain
- Hash Global
- Osaka Digital Exchange

ASIAN STAR
代表取締役会長
呉 文偉



Hash Global
Founder
KK Shen氏

パネルディスカッション①

「リアル世界資産のトークン化とコンプライアンスの境界」

- ・ RWAビジネスにおける現行法規制との整合性
- ・ 国内市場におけるアセットトークン化の課題
- ・ 金融機関とWeb3事業者の連携のあり方



招待制交流会

日本 RWA・ステーブルコイン & BNBエコシステム

(Japan RWA, Stablecoin & BNB Ecosystem)

PANEL DISCUSSION

パネルディスカッション①

「リアル世界資産のトークン化とコンプライアンスの境界」

司会:Antalpha/Zhou Ruoyun氏

パネリスト:Osaka Digital Exchange/舩 仁雄氏、DigiFT/Henry氏、Ondo Finance/Kunaal氏、Asseto/Bridget氏

登壇者たちの共通の認識として、資産の「トークン化(オンチェーン化)」自体はゴールではなく、流動性は信頼できる原資産と真の双方向の取引需要から生まれるという点が示されました。また、それは明確な規制、ライセンスを保有するパートナー、機関投資家向けの管理体制、情報開示、市場間流通、そしてマーケットメイク(市場流動性供給)のメカニズムに依存しています。

さらに参加者は、コンプライアンスは単なるコストや制限ではなく、機関投資家資金のアクセス、資産の安全性、そして法的責任を担保するためのインフラであると指摘しました。RWAプロジェクトにおいては、資産のクオリティ、プロダクトマーケットフィット(PMF)、グローバルな流通能力の検証が必要であり、「トークン化すること自体が目的化する(手段の目的化)」のを避け、適切なトークン化構造を選択すべきであるとの見解が示されました。

招待制交流会

日本 RWA・ステーブルコイン & BNBエコシステム

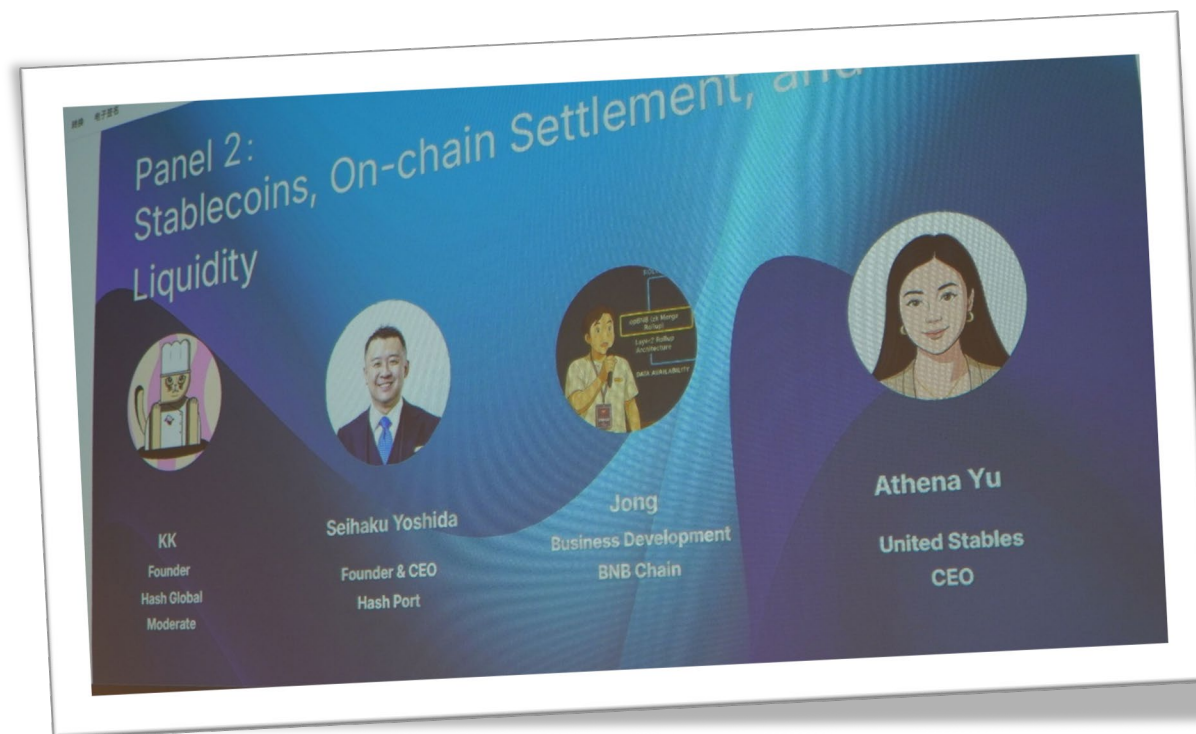
(Japan RWA, Stablecoin & BNB Ecosystem)

PANEL DISCUSSION

パネルディスカッション②

ステーブルコイン、オンチェーン決済とグローバル流動性

- ・ 国内ステーブルコイン解禁後の事業機会
- ・ クロスボーダー決済と流動性供給の仕組み
- ・ BNBエコシステムの活用可能性



招待制交流会

日本 RWA・ステーブルコイン & BNBエコシステム

(Japan RWA, Stablecoin & BNB Ecosystem)

PANEL DISCUSSION

パネルディスカッション②

「ステーブルコイン、チェーン上決済とグローバル流動性」

主催/進行: Hash Global/KK Shen氏

パネリスト: Hash Port/吉田 世博氏、BNB Chain/Jong氏、United Stables/Athena Yu氏

登壇者一同は、ステーブルコインの根幹はブランドやライセンス、AML体制などに基づく「信頼」であると指摘。

この信頼を前提に、法定通貨の入出金や流動性プール、パートナー網を構築する必要性を示しました。円ステーブルコインの普及が進めば、国内決済に留まらず、日本の不動産や株式、MMFなどの資産と直接つながる「効率的なオンチェーン決済のクローズドループ」が形成されると展望しました。

また、日本でのRWAプロジェクト立ち上げ(パイロット)には、ライセンスを持つパートナー、コンプライアンス/プライバシーツール、ステーブルコイン決済などを同時に備えることが必須条件として挙げられました。

「良質な資産」「信頼できる機関」「明確な規制」という日本の強みを活かしつつ、「グローバルチェーン上の資金とユーザーをいかにつなぐか」が次段階の重要なテーマとなります。

招待制交流会

日本 RWA・ステーブルコイン & BNBエコシステム

(Japan RWA, Stablecoin & BNB Ecosystem)

PANEL DISCUSSION

交流会

各セッションの前後には、
参加者同士のネットワーキングの機会を設けました。

今回の交流会で得られた知見とネットワークを活かし、
国内外のパートナーとの連携を深めながら、
不動産をはじめとするRWA関連ビジネスの
具体化に向けた取り組みを推進してまいります。



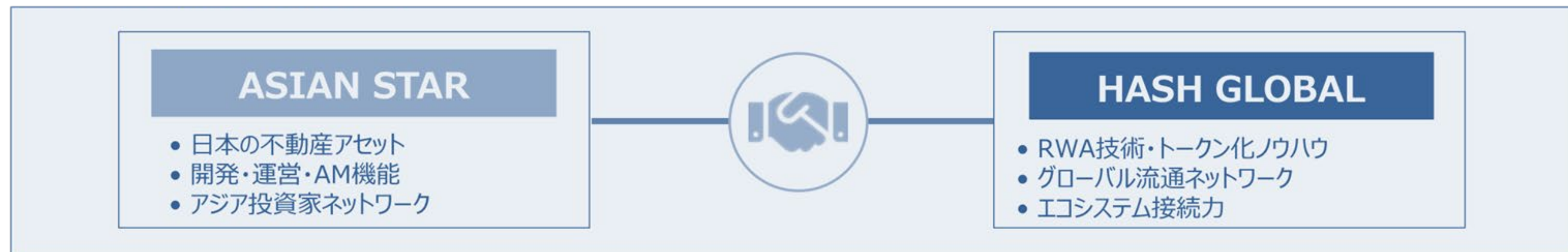
RWA 成長戦略との連動

戦略的提携公表後、初の主催交流イベント

2026年6月26日付「第三者割当増資等に関する補足説明資料」にて掲げた「不動産のトークン化(RWA関連ビジネス)」は、いよいよ検証・研究のフェーズに入りました。

今回のイベントは、今後の本格進出を具体化していくための確かな第一歩となります。

Hash Global社との戦略的提携



BNB Chainエコシステムとの連携



両社の強みを融合し、日本不動産をBNB Chainを通じてグローバル資本市場へつなぐ

最後までお読みいただきありがとうございました。



アジアの明日を拓く、エイシアンスター。

- 本資料（本ページに掲載された情報およびリンク先等を含みます）は、当社の事業活動やイベント開催に関する情報提供のみを目的としたものであり、当社株式の購入や売却など、投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料に記載されている今後の事業方針や見通し等の将来予測に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。実際の業績や結果は、今後の様々な要因により、これら予測とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。
- また、本資料に掲載されている情報は発表時点のものであり、事前の予告なしに変更・廃止されることがあります。
- 当社は、新たな情報や今後の事象に基づき、本資料の情報を継続的に更新する義務を負うものではありません。投資に関する決定は、必ず投資家ご自身の判断と責任において行われますようお願い申し上げます。

（証券コード：8946）